

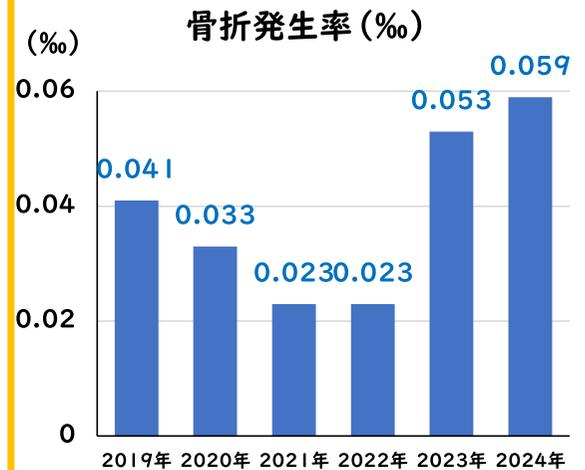
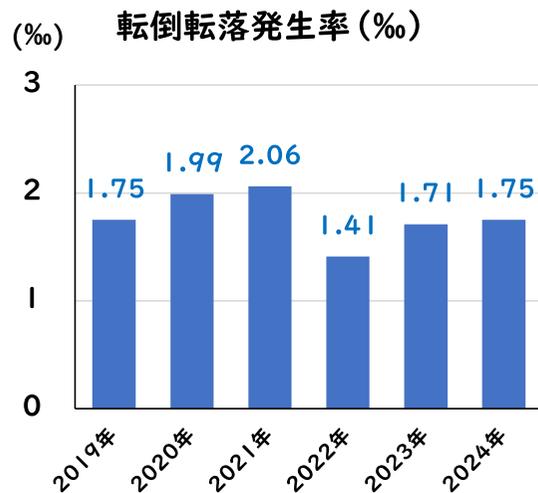
35 転倒・転落発生率および転倒・転落による骨折発生率

医療安全管理部

◆解説◆

転倒・転落発生率は看護の質評価のひとつです。当院では、入院後に転倒・転落リスク評価を行います。要因によっては二次評価から転倒・転落予防対策を実践しています。その一連のプロセスを評価する指標と考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2022年度に転倒・転落発生率は1.4%とやや低下しましたが、2023年度、2024年度は1.7%と微増しています。また、2023年以降、転倒・転落による骨折発生率も増加しています。

手術を必要とする転倒骨折事例は前年度から大幅に減少しており、転倒転落発生率の低下はないものの、高リスク患者への予防的介入の効果であると考えています。

◆定義◆

転倒・転落発生率: 入院患者の転倒・転落件数 / 入院患者延べ人数 × 1000

転倒・転落による骨折発生率: 入院患者の転倒・転落による骨折件数 / 入院患者延べ人数 × 1000